

第 1 1 回東北少年少女空手道選手権大会実施要項

(公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会

- 1 大会名 第 1 1 回東北少年少女空手道選手権大会
- 2 主催 (公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会
- 3 主管 宮城県空手道連盟
- 4 後援 (公財) 全日本空手道連盟
- 5 会場 利府町総合体育館
住 所：〒981-0131 宮城県宮城郡利府町青山一丁目 5 7 - 2
電話番号：0 2 2 - 3 5 6 - 6 0 1 9

6 大会日程

令和5年7月22日(土) 小学1年生～4年生(男女形・組手)

8:00	開館・受付
8:30	審判会議
8:50	開会式
9:20	競技開始(男女形・組手)
	表彰(随時)
17:00	競技終了

令和5年7月23日(日) 小学5年生～6年生(男女形・組手)

8:00	開館・受付
8:30	審判会議
8:50	開会式
9:20	競技開始(男女形・組手)
	表彰(随時)
13:30	競技終了

- 6 種 目 小学生1～6年生男子・女子の組手及び形競技各個人戦(人数制限なし)

- 7 参加種目 同一選手が形と組手の両種目に重複し出場しても良い。

種 目	形競技				組手競技			
選 手	男子	1年～6年			男子	1年～6年		
	女子	1年～6年			女子	1年～6年		
監 督	監督 1 名(11名以上参加の支部は2名)							

- 8 競技規定
 - (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟<空手競技規定>により行う。
競技規定改訂(2022年4月1日)採用
本大会より「わかれて・つづけて」「不活動」を採用します。
 - (2) 形競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で2名同時に行うが、決勝戦に限り1名ずつで各コートにて学年別男女別に競技する。3位決定戦は行わない。

- (イ) 勝敗は審判員 5 名の赤・青旗の多数決により決定する。
- (ウ) 1 回戦からベスト 8 までは、全空連基本形（ゲキサイ第 1、ゲキサイ第 2、平安、又はピンアン初段～五段）の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
- (エ) 準決勝以上は、全空連第 1 指定形、第 2 指定形、又は上記（ウ）の形でまだ競技で演武していない形から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
- (3) 組手競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で行い、3 位決定戦は行わない。
 - (イ) 競技時間は 1 分 30 秒フルタイムとする。但し、参加人数と競技日程の関係で変更（短縮）せざるを得ない場合も想定されるので、その際は審判長から通告する。
 - (ウ) 勝敗は、競技時間内に 6 ポイントを差、又は競技終了時に得点の多い方の選手を勝ちとする。但し、競技時間終了時に同点で「先取」がない場合は、審判員の判定により勝敗を決する。
- (4) 安全具
 - (ア) 組手全種目に全空連検定品である小学生用拳サポーター（赤・青リバーシブル）、メンホー No. 6 か No. 7、メンホー用マウスシールド（ミズホ製）ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。
※高体連用インステップガード新製品（全空連マークと高体連マークの両方が入っている 2022 年新製品）は使用可能とする。
 - (イ) 小学 3～6 年生男子選手は必ずセーフティカップを着装する。
1、2 年生は所属の指導者（監督・コーチ）の判断に委ねる。
 - (ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、十分注意すること。
- (5) 服 装
 - (ア) 監督・選手は、競技規定に沿った清潔な白の空手衣を着用する。
 - (イ) 金属やプラスチックなどのヘアバンドやヘアピンの他、競技の安全を欠くと思われる物品の装着は禁止する。
 - (ウ) 選手は、青帯・赤帯を各自用意し着用する。主催者側では準備しない。
 - (エ) 選手の胸マークは学校名・県名・道場名であること。又、胸マークが無くても良い。袖の表示等は原則として規制しない。
道衣メーカーのロゴマークは右胸だけは認める。（監督も同様）

9 表 彰

- (1) 優勝者、準優勝者、第 3 位（2 名）まで副賞を添えて賞状を授与し、第 5 位入賞者には賞状を授与する。
- (2) 入賞者の表彰は、競技の終了した種目から順次行う。
- (3) 表彰に際して受領しなかった場合、入賞者に対する賞状等の送付は行わない。
- (4) 各学年種別上位入賞者 4 名を東北地区強化指定選手として認定

10 審 判 員

- (1) 大会審判団は、「全空連」公認審判員をもって次により編成する。また、推薦審判員は（定年制 65 歳以下）とする。
- (2) 主管県を除く各県は、公認全国・地区・県組手審判員 6 名を選び、6 月 28 日（金）まで大会事務局経由で大会委員長宛て文書をもって推薦する。
- (3) 主管県は(2)に記載する人数にかかわらず、大会委員長と協議し、その指示により運営上必要な人数を推薦する。
- (4) 大会委員長は、各県から推薦され適当と認められたた審判員をもって、大会審判員を委嘱する。

- 11 安全対策 (1) 選手は、本大会前1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
(2) 参加選手は各自で、又は団体でスポーツ傷害保険等に加入をしておくこと。大会実行委員会では、傷害保険等への一括加入は行わない。
(3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置は施すが、それ以上の責任は負わないのでご了解ください。
(4) 監督、及び選手は、健康保険証を携行すること。

- 12 出場資格 (1) 選手は、「全空連」の会員登録者で、公認段位及び公認級位取得者であること。
(2) 監督は全空連会員登録者・公認段位取得済であらかじめ届出があった者とする。(20歳未満の監督は認めない)
監督は腕に監督の腕章を付けること。(IDカード着用)
*監督は空手道衣を着用する。ウェストポーチなどの携帯は厳禁です。

- 13 組合せ抽選 (1) 実行委員会において厳正に行う。

- 14 出場申込 (1) 選手は、出場費として一種目2,500円を納入しなければならない。
(2) 別途定める出場申込書を提出すること(原則として、選手名簿等はエクセルファイルで作成したデータも併せてメール等で提出すること)。
(3) 申込書の送付及び出場費送金先(口座)は次のとおり
(4) 県連事務局が取り纏め一括申込み。
*個人での申込みは受付しません

15 申込期限

- 16 宿泊等・弁当 各県連・各道場・学校で対応願います。

- 17 その他 (1) 出場申込書提出後の選手変更は認めない。
(2) 各コートの受付時間に間に合わない場合は、参加できないので注意すること。
(3) 参加各県は必ず引率責任者を配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営と事故防止に協力してください。

*5・6年生の組手決勝進出者は同日14時からの東北・北海道対抗定期戦の東北チーム代表選手とする。(次年度は北海道開催)

5・6年生で全少選抜大会参加の選手は『東北』胸マークを持参ください。
尚、審判団で氏名された方は対抗戦の審判ご協力をお願いします。